

# 軽井沢病院の経営改善について

軽井沢町国民健康保険軽井沢病院  
令和6年10月30日(水)

### ■ 理念

国際保健休養地の公的病院として住民及び訪れる方々に安心・満足していただける、心あたたかい良質な医療を提供し、地域から信頼され愛される病院を目指します。

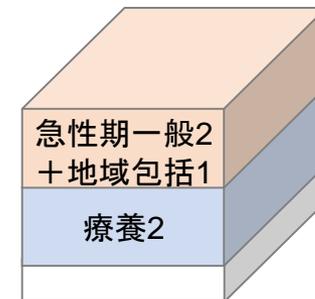
### ■ 当院が特に力を入れる医療分野

理念の実現および現在の軽井沢病院の状況を考慮し、次のとおりとする。

- 救急医療      地域の1～2次救急受入
- 高齢者医療      高齢者が特に必要とする軽症急性期～慢性期の医療提供
  - リハビリ      高齢な患者ができるだけ身の回りの世話ができる状態を目指してリハビリやケアを提供
  - 透析      地域の患者が近場で通院や療養ができる状態を目指して慢性維持透析を提供
- 健診      住民の健康のために必要なサービス提供

### ■ 病棟

- 集患実現可能性と人員配置効率性の観点から右の病棟構成を目指す。
- 2F病棟の転換には行政協議のため期間を要するため、その期間を利用して急性期一般入院料の向上を目指す。\* 9/1～急性期一般1開始
- 既存の回復期リハビリテーション病棟患者は将来的に地域包括ケア病床で受け入れる。



### ■ 外来

- 外来診療収益では利益を生み出せていない診療科も存在するが、その他業務や臨床面で果たしている機能を考慮して現在の外来診療体制を今後も維持する。

### ■ 透析

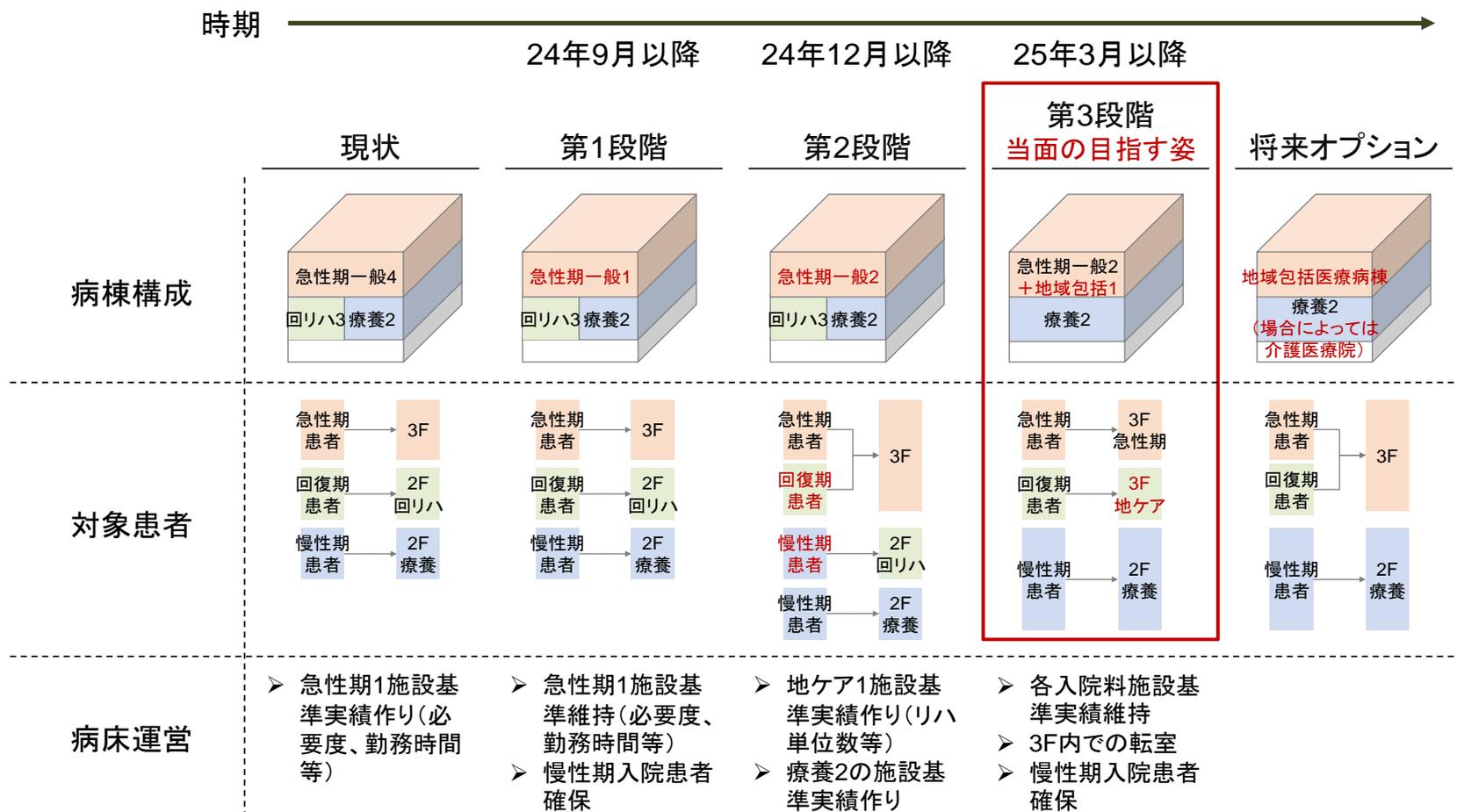
- 地域の大病院に滞留している患者や地域外流出患者を取り込むべく、受入の拡大を目指す。
- まずは既存枠内での受入拡大、その後に火木土午後枠の実施を検討するが、そのために患者急変対応に関する体制確保等を図る。

### ■ 健診

- 季節ごとに異なる健診需要をできる範囲で調整して稼働状況の平準化を目指す。
- 受診枠もできるだけ需要にあわせた設定とし、受診者数の拡大を図る。

# 病棟転換方針

- 当面の目指す姿は3F:急性期+地域包括ケア病床、2F:療養病棟とする。
- 上記が実現するまでの間に、3F病棟で急性期一般入院料1(7対1)の届出、9月1日開始。



## 取組体制

